

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票 (評価対象年度: 令和6年度)

施設の名称	名取市子育て支援拠点施設
指定管理者の名称	特定非営利活動法人子育て支援ARIママネット・一般社団法人マザー・ウイング共同事業体
施設所管部課(室)	健康福祉部こども支援課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)	摘要
平成31年4月17日～令和6年3月31日	指定管理者	マザー・ウイング・子育て支援ARIママネット共同事業体	
令和6年4月1日～令和11年3月31日	指定管理者	特定非営利活動法人子育て支援ARIママネット・一般社団法人マザー・ウイング共同事業体	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	特定非営利活動法人子育て支援ARIママネット・一般社団法人マザー・ウイング共同事業体
	所在地	名取市みどり台三丁目3番地の3
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日 (5年0ヶ月)	
募集方法	(公募) ・ 非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市子育て支援拠点施設 (cocoI'11(ここいる))
所在地	名取市杜せきのした五丁目3番地の1 イオンモール名取
設置年月	平成31年4月17日
根拠条例等	名取市子育て支援拠点施設条例
設置目的	小学校就学の始期に達するまでの者及びその保護者に交流の場を提供するとともに、子育てを総合的に支援し、もって子育て家庭の福祉の増進に寄与するため、子育て支援拠点施設を設置する。
施設の内容	赤ちゃんひろば、ふれあいひろば、相談室(授乳室)、オムツ交換室、エントランス等
開館時間	水曜日を除く月曜日～日曜日 午前9時～午後5時
休館日	水曜日、祝日の翌日、年末年始(12/29～1/3)
指定管理者が行う管理運営業務	乳幼児及びその保護者同士の交流の場の提供に関する業務、子育てに係る相談に関する業務、子育てに係る情報の収集及び提供に関する業務、子育てに係る事業を行う者等と連携した子育て支援に関する業務、拠点施設の目標を達成するために市長が必要と認める業務、拠点施設の維持管理に関する業務
利用料金制度	採用の有無 有 ・ (無)
	利用料金の名称

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	
開館日数	297日	306日	300日	97.1%
延べ利用者数	21,769人	21,169人	14,164人	102.8%
利用者数（人/日）	73.3人/日	69.2人/日	47.2人/日	105.9%
主な増減原因	「生まれてすぐ利用できる」「土日も利用できる」ということが定着してきており、0歳児の早い時期からの利用が増加したことや、父親が育児休業を取り、夫婦での利用する家庭が目立っていること、イベントをきっかけに、リピーターとなって頻繁に利用する親子が増加したことが挙げられる。			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

（1）収入

（単位：千円、%）

	評価対象年度（A）	前年度（B）	前々年度	評価対象年度の 対前年度比（%） （A） / （B）
	令和6年度	令和5年度	令和4年度	
指定管理料	15,900	15,043	15,300	105.7%
利用料金収入				
その他	18	28	15	64.3%
収入計（ア）	15,918	15,071	15,315	105.6%

（2）支出

人件費	13,058	12,357	11,840	105.7%
施設管理費	728	1,175	958	62.0%
事業運営費	989	968	608	102.2%
その他	1,082	488	645	221.7%
支出計（イ）	15,857	14,988	14,051	105.8%

（3）収支

収支（ウ）＝（ア） －（イ）	61	83	1,264	73.5%
前期繰越収支差額	3,004	2,921	1,657	102.8%
次期繰越収支差額	3,065	3,004	2,921	102.0%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

○乳幼児親子同士のつながり、出会う場となるよう定期的にイベントを設定した。
施設利用のきっかけ、利用促進のための「はじめてのcocoI'11」、子育て中のちょっとした悩みを他の親と共有できる場として、グループ相談「なごここ（転勤、育休、多胎児）」、月齢の近い親同士の繋がりを促す「きりりん〜ママと赤ちゃんのふれあいタイム」などを実施した。いずれのイベントでも「トークタイム」を設けて、親同士の交流が促されるように工夫した。「子育て中に孤独で、子ども意外と誰とも話していない」「同じ月齢の子どもの親と出会う機会がない」というニーズとも合致し、人気のイベントとなっている。
○産前産後の利用促進となるイベントを実施した。
第1子を妊娠中の夫婦を対象に助産師による「welcome baby! プレパママ講座」や、生後2か月～5か月までの親子を対象にしたグループ相談「助産師サロンぽかぽか」を年4回実施した。妊娠期から施設を知り施設へつながるきっかけとなっている。
○きめ細やかな相談対応を行った。
不安感や、負担感の軽減を図るため、親同士の悩みを共有できる場として「育ちの楽校」を開催した。また、日常のひろばにおいても、スタッフが親子が過ごす場に積極的に出ていき、ちょっとした雑談から始まる親の困りごとや悩みに寄り添い、関係性を築いた。より深い悩みを抱える方には、毎月1回定例の相談員による「個別相談ころん」に繋ぎ、個別でじっくりと相談できる場を設けた。親自身の体調や精神面での不調、夫婦・家族関係の相談など継続した相談がある。さらに専門的な支援を必要とする方には、市保健センター、療育機関、子育てコーディネーターなどの専門機関へつなぎ、双方で親子を支えられるように連携した。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

イオンモール名取という商業施設内にあることもあり、通りがかりの親子から「ここはうちの子でも遊べますか?」と聞かれたり、電話で「赤ちゃんは寝てるだけで特に遊べないけれど来てもいいんですか?」と産後間もない親子の利用も増えている。ひろばの利用は、「誰かと話したい」「ひとりで家に居たら息が詰まる」「子どもと二人きりで過ごしていると大変」という産後の鬱々とした気持ちの軽減につながっている。また、当該年度には年明けからイオンモールが移転や改築が進み、場所が分かりにくくなったこともあり、出足が減るかと思ったが、買い物に出かけた足で立ち寄り、他の利用者との交流やスタッフとの何気ない会話を求めて来館して来ている。
土日の開館を活かしたイベントでは「0ちゃんのばばいる」「ばばサンデー」の開催は、父親の利用促進に繋がっている。「子どもと一緒に何かをしたい」という父親のニーズにも沿った事業を開催することができた。
イオンモール名取の改築があり、「エレベーターの場所が分かりにくくなった」などの声も聞かれている。気持ちに寄り添い、丁寧に理解を促している。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

施設としての、地域連携が課題である。地域ではまだ”ここいる”を知らない親子も多く、子育て家庭だけではなく、民生主任児童委員、公民館、公園など、さまざまな場所で周知を広げる必要があると感じている。施設から出向くことができないことから、逆に、”ここいる”に地域のさまざまな活動をする人たちを受け入れていくことが必要となってくる。
”ここいる”利用者が利用後も、自宅の近くで繋がりを作れるよう、親子へ地域の情報を届けることを目的に、広く情報収集活動を行い、ひろばに地域ボランティア活動を受け入れていく。季節の行事や、読み聞かせなど得意なことを活かしてもらえるような場を設けることで、多世代との交流の場ともなるような効果を期待する。また、子育て中の親のエンパワメント、子育てを支える活動をする方の支援を行う。地域連携にも通ずる部分で、利用者自身が支える側（共助）へと促していく。
イオンモール名取の改築により「移転してきた店舗の音や光がうるさく、赤ちゃんへの影響が心配」という声が多く聞かれている。今後も改築が進むことから、丁寧に理解を促していきたい。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	—	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	◎	○
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	◎
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	◎	◎
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準（目安）】

評価		評価の考え方
◎	（優 良）	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	（良 好）	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	（課題有）	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	（要改善）	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

親子同士が会える場をつくり、交流や情報交換できるようテーマを主におき、魅力ある施設として広報を行ったことで利用者数に反映されているのではないかと推察される。

また、子育ての不安感・負担感の軽減のための丁寧な相談を実施し、必要に応じて専門機関につなぐなど居心地が良い空間づくりをしており、また、第1子妊娠中の夫婦や転勤者、父親など利用ターゲットを分かりやすく明示し、利用促進や継続的に利用できるような工夫をしていることも評価できる。

イオンモールのリニューアルに伴い、施設案内にやや苦慮する部分もあるが、施設で実施している利用者アンケートの満足度が例年高い水準にあり、令和6年度も満足度の高い評価を得られていたことから、継続して利用者が安心して利用のできる質の高いサービスの提供ができるよう、今後も努めていただきたい。